

平成 28 年度 第 4 回理事会議事録

日時 平成 28 年 10 月 14 日(金)14:00～

会場 AP 東京八重洲通り 11 階 O ルーム

<出席者>

理事長：杉町 勝

副理事長：山家 智之

理事：阿部 裕輔、椎名 毅、嶋津 秀昭、中沢 一雄、花房 昭彦、増山 理、
松本 健郎、村垣 善浩、守本 祐司、山森 伸二

監事：岩田 彰、篠原 一彦、

<オブザーバー・出席者>

幹事：京相 雅樹

磯山 隆(事務局長)、岡本 英治(北海道支部長)、木内 陽介(中国・四国支部長)、
井上 勝裕(九州支部長)、

<欠席者>

副理事長：大城 理、

理事：大須賀 美恵子、佐久間 一郎、中村 真人、橋爪 誠、松村 泰志、

監事：牧川 方昭

配布資料

議題一覧

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 28-4-2 | 平成 28 年度第 2 回理事会 議事録(案) |
| 28-4-3 | 平成 28 年度第 4 回理事会入退会審査対象者 |
| 28-4-4 | 第 13 回(2016 年)生体医工学サマースクール実施報告 |
| 28-4-5 | 学会ウェブサイトのリニューアルについて |
| 28-4-6 | 第 38 回第 2 種 ME 技術実力検定試験経過報告書 |
| 28-4-7-① | 論文賞、究賞奨励賞・阿部賞、新技術開発賞選定委員(案)リスト |
| 28-4-7-② | 日本生体医工学会における選奨スケジュール概要 |
| 28-4-7-③ | 日本生体医工学会選奨に関わる申請および報告について(雛型) |
| 28-4-8 | 平成 29 年度日本生体医工学会専門別研究会の新設(申請) |
| 28-4-9 | 2016 年 10 月理事会編集関係資料 |
| 28-4-10 | 生体医工学会活性化委員会理事会報告 |

28-4-11	生体医工学シンポジウム 2016 報告
28-4-12	公益法人化作業に関して
28-4-13	収支計算書(9/30 現在)
28-4-14	第 56 回日本生体医工学会大会準備状況報告
28-4-16	他団体との協賛状況

1. 出席者が 11 名となり、成立要件を満たしていることを確認し、開会を宣言した。

2. 資料 28-4-2 に基づき、第 3 回理事会議事録について確認し、承認された。

3. 審議 増山理事

資料 28-4-3 に基づき、入退会状況の報告があり、会員が減少傾向にあるため、会員増加の方策を考える必要があるとの提案があった。

4. 報告 阿部理事

資料 28-4-4 に基づき、第 13 回(2016 年)生体医工学サマースクールの実施報告があった。報告内容は、概要の説明、予算・決算の報告、参加者の紹介であった。

報告の後、開催の意義、予算額、来年度以降の継続について議論が交わされた。また参加者のほとんどが(会員の研究室所属の学生であるが)会員でない点も指摘があった。継続の場合には来年度予算に盛り込む必要があるため、それまでに来年度の実施について確定することとなった。

5. 審議 守本理事

資料 28-4-5 に基づき、学会 HP のリニューアルに関する状況について経過報告と審議依頼があった。リニューアルが必要な理由は、(1)管理の容易さ、(2)グローバル化、(3)多様な閲覧デバイスへの対応であると報告され、さらに更新のスケジュール、金額の見積もりが提示された。関連事項として維持費について話題になったが、現在すでに予算計上されている旨確認された。まず、リニューアル自体について承認された。次に業者の選定について議論があり、2 段階で選定することとなり、第一段階の審査は広報委員会で行うこととなった。また業者との作業の進め方について議論され、さらに予算は 100 万円程度をめぐり今年度予算の中で実施することとした。

現状の Web ページを含め、掲載内容、更新状況の定期的なチェックが必要であるとの提案があり、すでにその体制は整っていることが確認された。

支部、専門別研究会の Web ページの公開については、デザインは統一する必要はないが、閲覧可能な状態に保つことが必要であることが確認された。

6. 報告・審議 嶋津理事・守本理事

資料 28-4-6 に基づき、第 2 種 ME 技術者実力検定試験の実施概要について説明があった。(議事一覧の「第 37 回」を「第 38 回」に修正)。受験者の増加について指摘があり、生体工学関連学科等の学生が複数回受験するケース増加している点が影響しているとの分析であった。しかし受験者の増加には限界があることも指摘された。説明どおりに合格者の判定を行うことが承認された。

7. 審議 中沢理事

資料 28-4-7-①に基づき、「論文賞・阪本賞」・「新技術開発賞」・「研究奨励賞・阿部賞」の各選定委員会委員の選出について報告があり、提案通り委員が承認された。

次に選奨スケジュールおよび選奨過程の概要について説明があった。「論文賞・阪本賞」について従来通り会員からの推薦を受け付けるか議論されたが、会員からの推薦の機会を確保することとした。

最後にその他の賞についての選奨に関わる申請・報告のひな形の修正が提案され、了承された。またその周知に関する作業手順が確認された。

8. 審議 岩田監事

資料 28-4-8 に基づき、専門別研究会の新設について説明があった(当該研究会の関係者である岩田監事から説明)。設置期間が 4 年となっている点について指摘があり、提案側に確認することとした上で、提案内容は承認された。

9. 報告・審議 中沢理事

資料 28-4-9 に基づき、編集関連の報告が行われた。その中で編集委員の追加の委嘱について提案があり、承認された。

10. 報告 花房理事

資料 28-4-10 に基づき、出版事業、進学相談会、イベント(夢ナビライブ)、医療機器関連業界セミナーの活動について報告があった。委員よりイベント内容に関する質問があった。経費、次年度の内容については継続的に検討することが確認された。

11. 報告 杉町理事長

資料 28-4-11 に基づき、生体医工学シンポジウム 2016 の報告があった。シンポジウム論文について、審査の過程から外れたケースについて説明があった。今後予稿等の公開を検討している旨の報告があり、最後に 2017 年、2018 年の開催についての告知があった。投稿された論文への倫理に関する事項の記載について、議論が交わされた。

12. 報告・審議 阿部理事

資料 28-4-12 に基づき、公益法人化の申請状況について説明があり、平成 28 年 10 月 12 日に公益認定がなされ、現在認定日で公益社団法人の登記を行っている段階であることが報告された。

次に経理規程案と、学会事務委託先に関わる管理規程案および事務局管理チェックリストの案が提示され、承認された。

公益社団法人への変更に伴い、運営方法の変更について、年度途中での移行に伴う対応方法等、今後の作業内容について提案され、了承された。

1 3. 報告 村垣理事

今回の資料には含まれていないが、後日杉町理事長と村垣理事で確認する。

1 4. 報告 山家副理事長

当日追加資料に基づき、現時点での準備状況、内容について説明があり、オーガナイズドセッションの充実に向けた協力依頼があった。

1 5. 報告 岡本北海道支部長

現時点での準備状況について報告があった。

1 6. 杉町理事長

会員の増加に向けた取り組みについて委員長から提案があり、議論した。特に勧誘を行う際の連絡先について、個人情報保護の見地で適正な取り扱いをすることが申し合わされた。